

概要

KS X 1001 は、韓国（大韓民国）の文字コード標準のひとつです。1987年に現在の構造の符号になりました。当時の規格番号は KS C 5601 でしたが、のちに現在の規格番号に改められました。

日本の JIS X 0208 に類似した 2 バイトコードです。ハングル、漢字のほか、ラテン文字、ギリシヤ文字、キリル文字、平仮名、片仮名、数字、記号などを含まれます。

ISO/IEC 2022 に準拠した構造をしています。GL 領域に ASCII を、GR 領域にこの 2 バイトコードを呼び出した格好の EUC-KR がよく使われます。

他の規格との関係

KS X 1001 は、ISO/IEC 10646 (Unicode) の CJK 統合漢字 が最初に作られた際に元になった漢字集合のひとつです。

参照情報

KS X 1001 のコード表は ISO-IR のサイト で見ることができます（番号 149）。